

船舶事故等調査報告書

平成24年10月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第98号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成24年4月27日 09時45分ごろ	
発生場所	千葉県木更津市木更津港 木更津港富津第1号灯標から真方位290° 1,820m付近 (概位 北緯35°23.3′ 東経139°47.2′)	
事故等調査の経過	平成24年6月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A LNGタンカー ^{ムバラズ}MUBARAZ（リベリア共和国籍）、116,703トン 9074626（IMO番号）、NATIONAL GAS SHIPPING CO LTD</p> <p>B 引船 ^{きみつ}君津丸、235トン 140923、海洋興業株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A（ノルウェー王国籍）、免状不詳</p> <p>B 船長B、三級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A なし</p> <p>B 左舷灯上部ガラス破損、ハンドレール曲損、救命筏コンテナ破損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか32人が乗り組み、B船を入港支援作業に就かせて木更津港に向けて航行していたところ、視界が不良となり、視界回復まで沖で漂泊して待機することとなった。</p> <p>B船は、船長Bほか6人が乗り組み、入港支援作業の配置に就くためにA船船尾へ接近中、A船の右舷船尾の湾曲部分に接近したところ、A船に引き込まれる状態となったので、右舷プロペラを前進のまま、左舷プロペラを横方向としたが、平成24年4月27日09時45分ごろ、木更津港富津航路付近において、B船の左舷灯上部部分からハンドレール部分にかけての構造物がA船の右舷船尾と衝突して損傷した。</p> <p>B船は、その後、A船から離れて通常どおりの入港支援作業を行い、13時25分に作業を終了した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 北東、風力 3、視界 不良</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>A船の喫水は、船首約11.6m、船尾約11.7mであった。</p> <p>B船の喫水は、船首約2.6m、船尾約3.9mであった。</p> <p>船長Bは、A船に接近する際、A船の船尾形状の確認、接近速力及び船側着船位置の確認を怠ったと思った。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A なし、B あり</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A船は漂泊中、B船はA船に接近中、木更津港富津航路付近において、A船の右舷船尾とB船の</p>

		<p>左舷側上部構造物が衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、A船へ接近した位置が適切でなかったことから、A船と衝突したものと考えられる。</p>
原因		<p>本事故は、木更津港富津航路付近において、A船が漂流中、B船がA船に接近中、B船がA船へ接近した位置が適切でなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考		<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入港支援作業で大型船に接近する場合は、接近速度と接近する位置に注意すること。